

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大成中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得において、自己の学習状況の確認が不十分であること。 <指導上の課題> 知識・技能の定着へ向けた取り組みの機会・時間的な確保が難しいこと。	⇒ ・個別最適な学びを促す授業をテーマとし、教科内における授業改善を行うために、学期に2度は教科会を設定する。 ・各教科において、単元ごとに小テストなどを実施し、自己の学習状況の確認を行う。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 自分の意見や考えを伝えることを苦手としている生徒が多く、表現力の工夫に課題がある。 <指導上の課題> 表現する場だけでなく、そこから修正したり、思考するための機会をつくるのが課題である。	⇒ ・ICTを活用した意見の共有や話し合い活動を取り入れた授業を月に1度以上実践する。 ・年に2度校内研修において、全教員に「学びの指標」を意識した授業改善テーマにし、教科会を実施する。

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	調査結果
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語・数学ともに、全国平均よりも大きく上回っている。また、さいたま市平均よりもポイントが上回っていることから、基礎的・基本的な事項について、定着がはかられている。
思考・判断・表現	国語では、「読むこと」に関して、市平均よりもポイントが下回っていることから、課題であるとする。数学では、どの分野においてもさいたま市のポイントを上回っている。特に「データの活用」において、ポイントのが大きく上回っている。ICTの活用により、これまで以上にグラフや表などのデータに触れる機会が増え、読みとりと活用能力向上につながっていると考えられる。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	夏季休業中も含め、2回の教科会を実施し、教科内における個別最適な学びについて検討を行った。各教科において、積極的に小テストの実施がなされており、今後も継続していく予定である。	変更なし
思考・判断・表現	B	ICTの活用とより充実した話し合い活動を目指し、話し合い活動へのAIアプリの導入といった校内研修を実施した。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)